

私たち農林中央金庫の仕事は、
ある日突然、世界を大きく変えるようなものではない。

なぜなら私たちが向き合う農林水産業とは、
自然を相手にし、一朝一夕に変化や成果を生み出すものではないから。
モノをつくるのではなく、「いのち」を生み、育て、繋いでいくものだから。

だからこそ私たちは、世界の金融市場で安定した利益をあげるという挑戦を続け、
規模の大小を問わず、地域と農林水産業を守る人々に尽くす金融機関として生きてきた。
そうして、90余年の歴史を重ねてきた。

しかしこれからは、それだけでは十分とはいえない。
農林水産業が、時代の変化をとらえ発展し続ける産業になるためには、
私たちは、これまで以上の役割を果たさなければならない。

金融の知見を活かしながら、いままでの機能や範囲を超えた新たな貢献へ。
現場の課題の解決に、身をもって真摯に挑んでいく。
生産者はもちろん加工や流通、そして消費者と向き合い、その声に応えていく。

農林水産業から生まれる「いのち」は、
その先に連なるたくさんの「いのち」の営みに繋がっている。

いまこそ、私たち一人ひとりが、持てるすべてを発揮する時。
未来へと受け継がれるこの「いのち」の連鎖を、
より豊かで確かなものにするために。

持てるすべてを「いのち」に向けて。

Dedicated to sustaining all life.

農林中央金庫

目次

PART 1

農林中央金庫と「いのち」、 農林中央金庫の「いのち」。	7
--------------------------------	---

山中伸弥 <small>京都大学iPS細胞 研究所 所長</small> × 奥 和登 <small>農林中央金庫 代表理事 理事長</small> 「いのち」に向けて互いの思いのたけを語る	8
--	---

担当記者たちが語る！ 農林中央金庫と日本の農業	16
----------------------------	----

PART 2

農林中央金庫はどこを目指すのか？	23
------------------	----

農林中央金庫の価値創造モデル	24
----------------	----

私たちの人となり	26
----------	----

私たちの今とこれから	28
------------	----

価値を生み出す3つの事業	31
--------------	----

食農ビジネス	32
--------	----

食農バリューチェーンをささえる・つなぐ食農ビジネス	34
---------------------------	----

農林中央金庫が系統組織との協働により社会に提供する価値	39
-----------------------------	----

リテールビジネス	42
----------	----

投資ビジネス	46
--------	----

企業データ	51
-------	----